

資産運用の読み物



経済・投資のあんちょこ

VOL.26

投資信託を購入するタイミングはどうしたらいい？

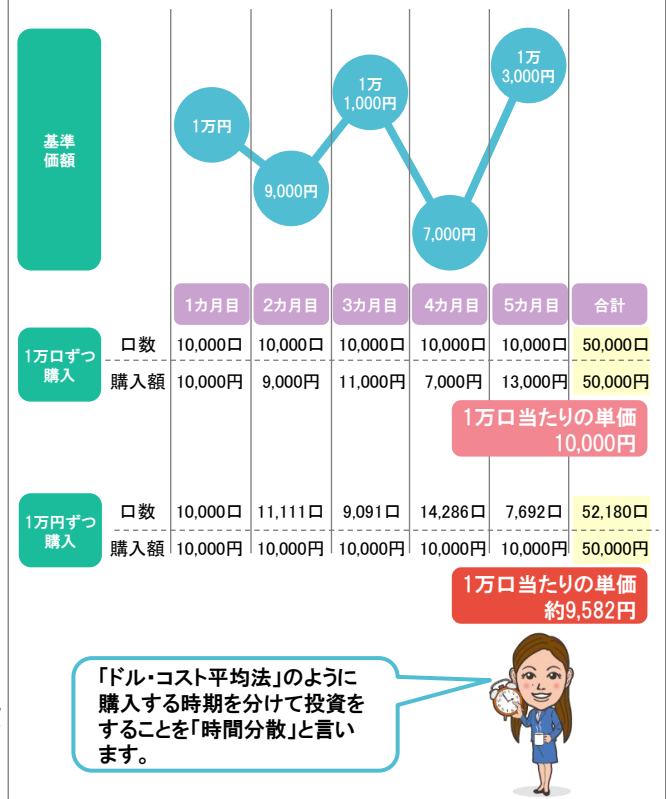
今回の話題

投資信託を始める時に気になるのが、購入するタイミングです。購入後に値上がりすればいいのですが、購入後に値下がりするかもしれないと思いつつ購入したら良いのかタイミングが分からなくなってきますよね。購入するタイミングってどうしたら良いのでしょうか？

毎回一定額を分けて購入するのがポイント

- 基準価額の動きを気にせずに投資信託を購入するポイントは、「一定期間ごとに」、「一定金額で」、「同じ投資信託を」購入することです。この方法をドル・コスト平均法と言います。
- 同じ投資信託を毎回一定額で購入し続ければ、基準価額が安い時はたくさん購入でき、高い時は少ない口数の購入になります。その結果、購入単価を平準化することができます。
- 例えば、ある投資信託を、5カ月間で毎月1万口数を購入した場合と、毎月1万円分を購入した場合を比較してみましょう。毎月1万口数を購入した場合、平均購入単価は1万円ですが、毎月1万円で購入した場合は、平均購入単価は約9,582円に抑えられています(右図)。
- 投資信託には、毎月一定額を自動的に積み立てながら購入できる投信積立という方法がありますので、この方法を活用すれば、ドル・コスト平均法を自然と実践することができます。

ドル・コスト平均法のイメージ



Point

「一定期間ごとに」、「一定金額で」、「同じ投資信託を」購入する投信積立なら購入するタイミングを気にせずに資産形成に取り組むことができます。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。